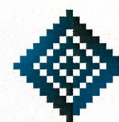


三乗整たより



2007.7月発行

社団法人 三重県柔道整復師会 広報部発行



写真説明 世界遺産 熊野古道

世界遺産に指定された、熊野古道は、紀伊半島南部にあたる熊野の地と伊勢や大阪・和歌山、高野および吉野とを結ぶ古い街道の総称で「熊野街道」とも呼ばれています。熊野古道には伊勢と熊野速玉大社を結ぶ伊勢路、その伊勢路の花の窟から分かれて熊野本宮大社に向かう本宮道のほか、大阪から和歌山を経て熊野に至る紀伊路は田辺で熊野本宮に向かう中辺路と、そのまま紀伊半島を海岸沿いに那智へ向かう大辺路、高野山から熊野本宮へ向かう小辺路、吉野から熊野本宮へ向かう奥駈道とも呼ばれる大峯道などいくつかのルートがあり、現在たくさんの観光客で賑わいをみせている。

目 次

■会長挨拶	1
■年間行事報告	1
■会員動向	10

会長挨拶

新緑の美しい季節になってまいりました、平素会員の皆様には本会事業運営に際しご理解と多大なご協力をありがとうございます。

この度の役員改選で、会員の皆様のご好意により再選させていただきました。

本当に有難うございました。皆様に託された6期目の責任の重さを強く感じております。

平成5年より厚生省試験になり、平成14年10年間で1万余名、その後平成15年～平成18年4年間で1万余名、平成19年4,400名余り、このままで行けば2年間で1万余名の柔道整復師が誕生するわけです。この異常な増数を黙認していてよいのか。早く何らかの対応をしないと業界そのものが駄目になってしまうでしょう。

又今期は公益法人改革、後期高齢者制度の導入と、我々社団にとって柔道整復師にとって大変革の年になると思います。社団と協同組合の定款の見直しと、それぞれの事業のすみ分けとそれに伴う経理処理の体制を整え望みたいと思っております。

又、今期は東海ブロック会長を拝命し、東海ブロック推薦理事として日整でも仕事を請けなければなりません、日整の理事会に参加することにより直接ものが言える事ですから、皆さんの貴重な意見を素早く日整に反映させることも出来ると思います。

今、政界も大変不安定で与党と野党の足の引っ張り合いで、国民不在の権力闘争ばかりが耳に、目に入ってきますが、それでも我々の業界は政治力なくして前に進むことが出来ません。色々な交渉事や協定等を優位に運ぶためにも、会員の皆様の一人一人の協力と、会の組織力がその力を高める結果となります。課せられた職務を一生懸命遂行いたします。先生方にはますますの団結とご協力をお願い申し上げます。



第3回福祉有償運送サービス運転協力者研修会

平成18年4月13日(木)、あいにくの曇り空の中三重県柔整会館において、平成18年度社団法人三重県柔道整復師会として研修会が開催されました。介護保険部長の任田志郎先生より開会の挨拶後、加藤進先生から研修の進め方の説明後、関西STS連絡協議会移動送迎サービスの柿久保浩次氏を講師に迎え研修会が始まりました。研修をするにあたって心得やなぜこの研修が必要になったのか目的についての説明後、本会講師が始めてインストラクターとなり研修会を開催。今回の研修ではパワーポイントを使って、柔整師としての学識を取り入れながら研修を進めていった。全国的に各県、各運営協議会の審議によって差はあるが運転者としての心得は同じである。小さいからいいものではない。

常に細心の注意を払い仕事に就くことを忘れないようにしなければいけないと話され実技研修に入った。実技研修では、実車を使い介助者としての注意点や移送方法を熱心に学び、車椅子を使っただけの研修では、介助者から介護される側になり体験する実技も行い、業務に携わる者としての心得を再認識できた研修会であった。また、今後は、救急法や、事故時の対応、また実技では実車走行等も取り入れながら研修を構成し確立していけるよう検討していきたいと考えています。



機能訓練指導員講習会

平成18年4月16日（日）、5月14日（日）の2回に分けて本会会館にて機能訓練指導員講習会を開催した。会員60名の参加のもと介護保険法改正に係る柔道整復師について、新介護予防についてなどの講義を受け、その後体力測定法、個別機能訓練実施計画書の作成方法、評価票作成などのノウハウを学び、今後柔整師として地域支援事業等への対応ができ柔道整復師のおこなう機能訓練指導を確立するべく熱心に行われた。

柔道練習及び審判講習会

平成18年5月7日（日）、ゴールデンウィーク最後の日。あいにくの雨模様の中、高田高校武道場において、本会会員と学生の合同練習会が開催されました。

日頃から練習に励んでいる先生と学生たちが熱のこもった技の掛け合いで汗を流した。その後、柔道大会を控えているため審判講習会も行われた。



第45回通常総会・意見交換会 第6回協同組合通常総会開催

さわやかな初夏の風が吹く、5月28日（日）、ホテルグリーンパーク津伊勢安濃の間において、第45回通常総会が開催され、会長より介護保険改正により我々柔整師の地域支援事業や地域包括センターへの参入など様々な動きがあり、本会においても機能訓練指導員講習会も開催したところです。また、6月より診療報酬の料金改定も行われることの説明がなされた。その後新入会員の紹介、事業報告・決算報告がなされ、合わせて事業計画・予算修正が行われた。その後意見交換会が行われ、ご来賓からは「国民に信頼される、国民の為の医療を提供していただきたい」と話された。

その後、来賓・会員との意見交換で盛大の内に幕を閉じた。



■柔整師杯 第12回県下少年柔道大会

平成18年6月25日(日)午前10時より三重武道館において当会主催の県下少年柔道大会が開催されました。

伊藤宣人副会長の開会宣言に引き続き、伊藤和夫会長より「日頃鍛錬された技術と精神力をいかに発揮され、正々堂々と悔いのない試合を期待しております」と挨拶され、来賓祝辞では田村憲久衆議院議員、田中彌津市教育長よりいただきました。力強い選手宣誓後、県内小学4年生から6年生まで総勢381名の参加で個人戦の熱い戦いが繰り広げられました。会場からは、東海ブロック柔道大会出場及び日整全国大会出場をかけていることもあり、保護者の熱い応援や指導者による厳しい掛け声が館内に響きわたり一層盛り上がりました。

【大会結果】

4年生の部

優勝 上村 幸大
準優勝 木下 義也
参位 岡本 大輝
参位 曲田 周平
5位 谷口 真英
5位 中村 朱里
5位 山本 凌歌
5位 上迫 治希

5年生の部

優勝 高島 笙太
準優勝 川森 直威
参位 下田 将大
参位 市橋 晃義
5位 北谷 遼
5位 辻本愛里奈
5位 林田 直也
5位 前田 将貴

6年生の部

優勝 柴田 裕平
準優勝 山本ももこ
参位 萩 優次
参位 青木 健太
5位 上村 太嗣
5位 前島 圭佑

団体戦 優勝 三重武道館
準優勝 久居柔道教室
参位 さくら道場



上記の24名は、平成18年7月30日(日)、岐阜県大垣市で開催の東海ブロック会柔道大会に出場されます。

6年生、5年生の優勝、準優勝者及び4年生の優勝者は、平成18年10月9日(月・祝)、東京講道館にて開催の日整柔道大会に出場されます。

■柔整師杯第3回東海少年柔道大会・第25回東海ブロック柔道大会

平成18年7月30日(日)、岐阜県大垣市大垣武道館において、第3回東海少年柔道大会と、第25回東海ブロック会柔道大会が開催されました。当日、観光バスで朝4時に熊野を出発し、選手、父兄、会員を乗せ大垣へ向かいました。本会からも4年生から6年生まで24名が出場し、熱い熱戦が繰り広げられ、4年生の上村幸大くんが3位、山本凌歌さんが敢闘賞、5年生の市橋晃義くんと北谷 遼くんが敢闘賞、6年生の柴田裕平くんが3位、萩 優次くんと山本ももこさんが敢闘

賞でした。午後からは柔整師の大会が行われ、本会からは、西岡正訓会員・伊藤孝彦会員・山下達也会員・橋本 寛会員・古市博己会員が出場され、惜しくも3位でした。西岡正訓会員が大会優秀選手に選ばれました。会員のみなさんお疲れさまでした。

■第11回三重県学術保険研修会

平成18年10月1日(日)、午後1時よりアストホールにおいて第11回三重県学術保険研修会が開催されました。先ず、伊藤和夫会長より開会の挨拶があり、三重県社会保険事務局医療課医療事務指導官・井田長巳氏、同事務専門官・西 智晴氏から柔道整復師療養費・受領委任の取扱・算定基準の実施上の留意点についての説明、損害保険料算出機構四日市自賠責調査事務所主査福田雅文氏からは、自賠責最近の傾向について、三重県国民健康保険団体連合会事務係長・清水一典氏から国保申請書の注意点、特に10月施術分からの高齢者の取扱方や総括表への記載注意についてなど療養費支給申請に関わる重要点を指導いただいた。

学術部発表では、学会形式により4名の会員による発表が行われた。

学術部として、桑名支部の大野勝四郎会員からは、「上腕骨外側上顆痛とテーピングについて」、鈴鹿支部の豊田長億会員からは「考案した湿布作成器について」の2題が発表され、湿布作成器については取扱やどのように考案されたか熱心に質疑応答された。

また、介護保険部からは四日市支部の杉浦 晋会員による「介護保険制度と福祉用具」と題して発表され、平成18年4月からの介護保険制度改革によりどのように変わったか、それに伴って福祉用具貸与の変更について説明された。

その後、介護保険部長から「機能訓練計画書作成ソフト(げんきくん)」について、日整により、平成18年度厚生労働省研究補助事業の一環として開発されたもので、本県でも機能訓練を行っている事業所において、日整のげんきくんソフトを使用し研究事業に協力していただいていますと報告され、げんきくんを使って紹介が行われた。

■第14回日整生涯学習講習会

平成18年10月8日(日)、日本柔整師会館において第14回日整生涯学習講習会が開催され、伊藤和夫会長と梶田忠正経理部長が出席されました。シンポジウムでは、「柔道整復師に必要な生涯学習と制度のあり方」として5名の発表者があり柔整師に必要な生涯学習と問われて思うことは、「常に向上心を持って何事にも取り組む姿勢を持つことだ」と。個々においては専門知識や技術習得も勿論ではあるが、基礎医学を高めることであり、今後の生涯学習のあり方を模索し、日整を中心に柔整師を統一していただければと話された。その後特別講演として、おもいきりテレビでお馴染みのイシハラクリニック院長石原結實先生による、「薬のいらない健康法」と題し講演が行われ、その後全国会長会議が行われた。

■第15回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会

■第30回構成労働大臣杯争奪日整全国柔道大会

平成18年10月9日(月・祝)、講道館大道場において、第15回日整全国少年柔道大会・第30回日整全国柔道大会が開催されました。開会式の後、今年は三井住友会場女子柔道部上野姉妹

や部員により柔道指導が行われました。普段の練習と違いオリンピックや世界選手権を経験されている選手による指導ということで熱のこもった指導会でした。

その後、9時30分より少年の部の試合が始まり、三重県代表の5名は、第3試合会場において1回戦はシードにより、沖縄県と岩手県の勝者と対戦となり、沖縄県が勝ったため2回戦で戦い、1-3で勝利し、3回戦へと進みましたが惜しくも奈良県に敗退してしまいました。参加していただいた5名の選手にはこの経験を活かし、さらに柔道にまい進していただきたいですね。午後からは、柔整師の部が開催され、三重県からは、伊藤孝彦会員と西岡正訓会員が東海西部代表として出場されましたが、1回戦で南関東に惜しくも負けてしまいました。伊藤孝彦会員は、日整柔道大会10回出場で特別功労者として表彰していただきました。

この大会は NHKBS2放送にて12月10日(日)午後3時から放送されます。



■第43回三重県実業柔道大会

平成18年10月22日(日)、鈴鹿市武道館において第43回三重県実業柔道大会が開催されました。県内各地から団体戦に10チーム、個人戦に58名が出場し、本会からは団体戦と個人戦に伊藤孝彦会員・橋本 覚会員・西岡正訓会員が出場されましたが、惜しくも3位決定戦で敗退してしまいました。また、当日は救護担当として鈴鹿支部の山本博幸会員と岩本嘉生会員にご協力いただきました。ありがとうございました。

■第41回東海接骨学会・第88回中部接骨学会

平成18年11月5日(日)、静岡県浜松市アクトシティ浜松で開催されました。

本会から、牟婁支部東 徳和会員が会員研究発表者として発表されましたので、抄録をご紹介します。

【学会発表抄録】 シンスプリントに対するテーピングの一法

キーワード : シンスプリント、テーピング、足底板

【はじめに】 シンスプリントに対し当院では、比較的新鮮例においては第一に安静を指示する。しかし、早期安静が困難であった患者に対し、筋作用等を考慮し、悪化防止と疼痛の軽減を目的として簡易な足底板と伸縮テープを併用しテーピングを施したところ、比較的良好な結果が得られたので報告する。

【対象】 当院に来院し、シンスプリントと判断した患者のうち、試合等の都合により安静が困難な患者に対し足底板およびテーピングを施し、練習の継続を許可した7名(13歳~17歳 平均年齢15.2歳 男性5名、女性2名)を対象とした。

【方法】

1. 5cm 幅のキネシオテープを外果下部より足底中央後部を通り内果より下腿内側上 3/4 付近まで施す。
2. 1 の補強もかね、第5中足骨基底部より足底中央を通り足関節前方を通過させ下腿後外側上 3/4 付近まで施す。
3. 弾力性のあるパットラバー(ダイヤ工業製、厚さ1cm)を足底に合わせカットし、足底にあて7.5cm 幅のキネシオテープにて足背より第5中足骨基底部を通りパットを固定し、足関節

前方を通過させ下腿中央上 3/4 付近まで施す。

4. 最後に下腿上部と下部にロックをして終了とする。下部は患部付近であるため、強く巻き締めないように注意する。

【症例供覧】

＜症例 1＞16 歳 男性 サッカー 左下腿

10 日程前より走行時に痛みが出現。疼痛を我慢し練習を継続していたが疼痛が増強し来院。局所症状としては腫脹軽度、圧痛著明であった。試合までの 8 日間で、6 日間練習時のみテーピングを行ったところ、運動時痛も軽減され試合にも無理なく出場し、その後、10 日程安静にすることにより機能的症状や局所症状も改善され治癒とした。

＜症例 2＞13 歳 男性 バレーボール 右下腿

数日前より疼痛が出現。圧痛著明、腫脹軽度、運動時以外の歩行時にも疼痛が強いため、疲労骨折の疑いがあると判断し医療機関へ紹介した。結果、骨の異常は診られないと回答を得、試合までの 11 日間で、5 日間練習時のみテーピングを行ったところ運動時痛も軽減され悪化することなく試合にも出場し、その後 2 週間程安静にすることで機能的症状や局所症状も改善され治癒とした。

＜症例 3＞17 歳 男性 陸上 両下腿

1ヶ月程前より疼痛が出現していたが練習を継続、疼痛が治まらず来院。扁平足、運動時痛、圧痛著明、腫脹軽度であった。テーピングを施したが足底に違和感および疼痛を生じ、中止とした。

全 7 名中 運動痛の軽減 5 名・増強 1 名・変化なし 1 名であった。

【考 察】1と2でのテーピング方法で過度の外反回内を抑制することにより、内反作用を持つ後脛骨筋・長指屈筋・長母指屈筋・前脛骨筋へのストレスが軽減され、また、パットにおいては、後脛骨筋・長指屈筋・長母指屈筋は足部の縦アーチを保持する際にも作用することから、ランニングやジャンプ着地時の加重による縦アーチの減少が生じれば、それを抑えようと筋収縮が増すと考えられ、そのことからパットを入れることにより、縦アーチの過度の減少を抑えられ、かつ、過度の外反も抑えられ内反筋への必要以上のストレスも抑えられると考えられこれらのことから足底板は有効と思われた。しかし、扁平足の強い場合、圧迫刺激等により足底に疼痛が生じ、それを避けようと内反筋作用が増し悪影響をおよぼす可能性があると思われた。また、方法 1. 2. 3 のテーピングの停止部を下腿 3/4 上部にすることで下腿三頭筋の補助となり、ヒラメ筋へのストレスも抑えられると考えた。

【まとめ】運動時の疼痛の軽減および新鮮例に対して症状悪化の防止に有効と思われた。また、足底板は扁平足等に対し、長期的にみるとアライメント調整や再発防止にも有効と思われる。だからといって即座に通常の練習メニュー開始は好ましくなく、慣らしのための練習メニュー、筋力強化、ストレッチ等の指導を行っていくことも重要と思われた。

【参考文献】

- 1) 小出清一ほか：スポーツ指導者のためのスポーツ医学、南江堂、104、2004
- 2) 中村隆一ほか：基礎運動学、第4版、医歯薬出版、226-233、1992



■第4回福祉有償運送サービス運転協力者研修

平成18年11月23日（木・祝）、三重県柔整会館において福祉有償運送サービス運転協力者研修会が開催されました。県内各地から福祉輸送に従事するヘルパーや介護職員18名が集い、関西STS連絡会柿久保浩次氏を講師に招き、平成18年10月に法改正された研修事業の今後の取組みや、運転協力者としての資質向上を目指し、実技や、救急法を盛り込みながら熱のこもった研修会が開催されました。法改正により、許可制から登録制への変更や措置期間内での対応など様々なことが変更になり制度上の理解をするため、三重県健康福祉部長寿社会室介護保険グループ主査盆野行輝氏による法改正後の事業所対応について説明いただいた。実技研修では、実際に車イスを使って利用者の立場になった時の乗降訓練や福祉車両を使っての実車研修など、日頃介助に従事している研修生も気づかないことの多さにビックリしながら充実した研修会を終えた。



■第15回日本柔道整復接骨医学会

最高の紅葉の時期、平成18年11月25日（土）・26日（日）に京都府南丹市にある明治鍼灸大学において、第15回日本柔道整復接骨医学会が開催されました。

毎年地方で開催される接骨医学会ですが、今年のメインテーマ「柔道整復師と教育」と題しているためか明治鍼灸大学での開催となった。明治鍼灸大学は昭和53年に「東洋医学と西洋医学の補完と融合」を建学の精神に掲げ誕生し、昭和58年に短大制から4年生大学へ昇格させ、鍼灸医学に関するわが国初めての高等教育機関となり、昭和62年には医歯学部以外では初めての大学付属病院を設置し現代医学とのかかわりを深めている。

25日（土）は学術大会会長講演、26日（日）は、一般公開のシンポジウム、両日に渡りセミナーや専門部会がそれぞれの会場に分かれ、全国各地から参加された先生方による研究発表が行われ盛大に開催され有意義な勉強会であった。

【学会発表抄録】 腓骨遠位端骨折保存的療法の一治験例 (柔道整復師が取り扱う保存療法の範囲)

- 伊藤 宣人 1) 五島 清志 2) 伊藤 和夫
- 3) (社団法人日本柔道整復師会 東海ブロック 三重県)

key words: 記録の保存 保存療法の見極め
【Abstract】

柔道整復師の取り扱う骨折については、負傷の状態により様々な状況が想定され保存療法として行うためには、医接連携のもと多くの画像等及び負傷部位から得られる情報を総合的に判断し、範囲の見極めと長所を再考察する事が重要であると考え一症例として治験を行った。

年齢 40 歳 男子 フットサル(室内サッカー)競技の練習中、ボールの上に左足が乗り転倒しそうになって足関節が外反強制され受傷し総合病院において左腓骨遠位端骨折が判明し、観血療法を勧められたが本人の意思も含めて画像から得られた情報を基に骨折の位置、形状、予後を充分検討し保存療法の範囲であると判断し治療を行った。

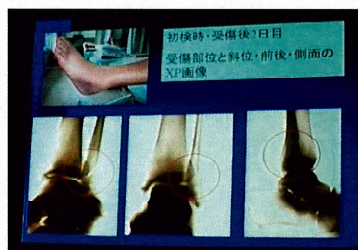
1. 患部の腫脹と疼痛は著明であったが可動制限があるものの、足関節の内反及び外反が可能であり、それぞれについての靱帯損傷は軽度と判断した。
2. XP画像をスキャナーによりパソコンに転送し画像処理ソフトを使い前後像及び側面(斜位)像等の骨折線をより明確にさせ治癒に至るまで、来院ごとに分析を行った。
3. 受傷直後から来院ごとに治癒に至るまで、デジカメによる患部の撮影を行い、パソコンに記録保存を行った。

上記の方法により治療を行った結果、保存療法の有意性を見出すことが出来た。

受傷部位における状態および医接連携のもと得られた情報をパソコン、デジタルカメラ、スキャナー等を活用し骨折部位の正確な位置関係等を分析する事が保存療法の範囲の見極めに役立った。以上の事により負傷の状態・経過・結果等を詳細にデジタル記録保存する事が重要であり、今後、それぞれの部位に於いても同じ試みで画像を中心とした指標をデータベース化し柔道整復師が行う保存療法の範囲として積み重ねて行く事が必要であると考えた。



～ 発表する伊藤副会長 ～



～ デジカメによる記録 ～

■平成19年 新春意見交換会

平成19年1月14日(日)、午後3時よりホテルグリーンパーク津安濃の間において、本会顧問 田村憲久氏、日整の萩原正会長、東海ブロック会長尾藤先生をはじめ来賓の方々を迎え盛大に開催されました。祝宴に先立ち会長より、親族による殺人事件が多い中、今年は良い世の中になってほしいものと挨拶され、来賓からも医療にも活気、景気回復明るい世の中にならしてほしいとお言葉をいただきました。その後、会員同士交流を深め、協同組合主催のピンゴゲーム大会では、われ先に「ピンゴ!」の声を上げながら景品を求め会場内は大いに盛り上がりました。

■ 第46回通常総会（予算）・役員改選

平成19年3月25日（日）、アストホールにおいて第46回通常総会（予算）が行われ、平成19年度予算及び事業計画案が報告された。

また、役員改選も行われ新役員に下記の方が決定されました。

【平成19年度新役員】

会 長	伊 藤 和 夫
副会長	伊 藤 宣 人（保険担当）
〃	伊 藤 紀 夫
理 事	山 本 博 幸（常務理事）
〃	前 田 武 久（総務部長）
〃	任 田 志 郎（経理部長）
〃	加 藤 進（介護保険部長）
〃	橋 本 誠（柔道部長）
〃	亀 山 宏 暢（広報部長）
〃	福 岡 啓 考（広報部副部長）
〃	服 部 和 人（学術部長）
監 事	古 橋 敬
〃	豊 田 長 億

以上の方々です。会運営にみなさまのご協力お願い申し上げます。

■ 広報発刊にあたり ■

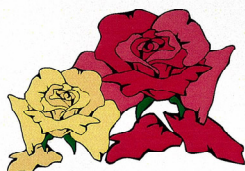
平成18年度においても様々な本会行事や東海・日整・全国等行事が開催されましたが、会員の皆様方のご参加、ご協力をいただき無事終えることができました。これもひとえに会員の皆様方のご協力があったからこそと考えております。今後とも広報発行へのご協力及び本会行事へのご参加をお願いしまして、広報発刊のご挨拶とさせていただきます。

広報部長 亀山宏暢

会員動向

【新入会員紹介】

四日市支部	日沖貴宣(ひおき たかのり) 平成18年4月1日入会 ひおき接骨院 四日市市芝田2丁目3-1 グローバルビル1F (TEL) 059-350-5000 (FAX) 059-350-5012
津 支部	宮原大輔(みやはら だいすけ) 平成18年6月12日入会 みやはら鍼灸整骨院 津市高茶屋小森上野町1295-2 アンアン A 1-C (TEL・FAX) 059-235-0802
伊勢支部	林 栄二(はやし えいじ) 平成18年8月31日入会 はやし整骨院 伊勢市小俣町湯田660-4 (TEL・FAX) 0596-20-7575
松阪支部	田端 隆宣(たばた たかのり) 平成19年2月28日入会 みくも鍼灸接骨院 松阪市碓目町18-14 (TEL) 0598-56-9940 (FAX) 0598-56-9936
鈴鹿支部	請井 康人(うけい やすと) 平成19年3月1日入会 うけい接骨院 亀山市みどり町1-37 (TEL・FAX) 0595-82-1300



新しく仲間になりました。どうぞよろしく申し上げます。

【退会者】

藤村耕雲会員	平成18年6月18日	死去
森百合子会員	平成18年10月31日	自己都合により
小泉光男会員	平成18年12月31日	自己都合により
赤澤功史会員	平成19年3月31日	自己都合により



【お悔やみ】

平成18年5月24日	橋本 誠会員御母堂告別式	鳥羽市
平成19年2月17日	中西孝之会員御母堂告別式	鈴鹿市
平成19年3月9日	寺田州克会員御母堂告別式	四日市市
平成19年3月20日	水谷澄夫会員御母堂告別式	いなべ市





社団法人 三重県柔道整復師会

所在地 〒514-0016

三重県津市乙部2086

TEL 059-222-3832

FAX 059-222-3857

E-mail miejusei@m21.alpha-net.ne.jp